



第2回 埼玉 BHELP 標準コース 受講生募集案内

BHELP(Basic Health Emergency Life Support for Public)とは、

「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

【コース概要】

対象：被災地域内で発災直後から支援者となりうる医療・保健・福祉に関連する専門職及び防災業務に従事する行政職員

(1) 医師 (2) 歯科医師 (3) 看護職 (保健師、助産師、看護師、准看護師) (4) その他の医療専門職 (薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、栄養士、管理栄養士、歯科衛生士 等) (5) リハビリテーション関連専門職 (理学療法士、作業療法士、柔道整復師 等) (6) 福祉関連専門職 (社会福祉士、介護福祉士 等) (7) 救急救命士 (8) 防災業務に従事する行政職 (9) (1)～(7) の受験資格を得ることができる教育機関の学生または生徒 (10) その他、BHELP 運営委員会が認める者

**軸は CSCAHHH Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)
Helping Hand (手を差し伸べる)
Handover (つなぐ)**

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則について
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点について
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用について
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法について

2) 机上演習

- ・講義で学習した内容を活用して、トリアージ、保健福祉的視点によるトリアージ、CSCA を意識した対応、アセスメントシートを活用した対応
- ・避難所の評価、避難所レイアウトについての机上演習

【開催概要】

日 時：2019年8月25日(日) 9:30~17:00 受付9時~

会 場：さいたま市民医療センター 2階大会議室

〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根 299-1 アクセス URL : <https://www.scmc.or.jp/access/>

コース運営者：坪井 謙 (さいたま市民医療センター)

募集人数：30名 *昼食は御用意致しません

受講費：5,000円 *当日受付にて徴収。 *別途資料代を徴収することもあります。

【申し込み】

学会管理システム：下記にアクセスしていただき受講申し込みをお願い致します。

<https://mcls.jp/dport/?evType=BHELP>

※お申し込みには、事前に JADM メンバースサイトへの登録が必要となります。初めてご利用になられる方は新規会員登録をお願いします。(学会員登録とは異なるものです)。新規会員登録後に、コースの参加申し込みをお願いします。メンバースサイトへの新規登録のみでは、コース参加申込みとなりませんのでご注意ください。

【応募締め切り】7月26日(金) 23時59分まで

※定員に達し次第、申し込みを終了する場合がございます。予めご了承下さい。

【受講採否】先着順ではなく職種や地域性等を考慮して選考させていただきます。

※受講決定者には、ご本人のメールアドレスに8月2日を目処にご連絡致します。

【お問い合わせ】

コース運営担当 坪井 謙 事務担当 中野 d.nakano@scmc.or.jp

その他コースに関して 管理世話人 増田 由美子 yumimasu@saitama-med.ac.jp

※開催施設や学会事務局ではお問い合わせに対応しておりませんのでご注意ください。